小海町の文化財

KOUMI TOWN

国 2 梵鐘（野ざらしの鐘）＜重要文化財＞
鎌倉時代、弘安2年(1279)池の間に天女(飛天)を陽刻、上帯に雲文様、下帯に唐草文を陽刻、大和下田鋳物師伴長作。

32 俳句「若草百人集」版木
＜有形文化財＞
井出滝人に俳句を学んだ篠原三蔵(光月)が、18歳で岡士百人の句を編集し、滝人にその書を依頼し、版木に彫刻。100枚の版木が完存している。

12 本間十二社
＜有形文化財＞
享和元年(1801)大工棟梁中小田切村清水勘兵衛美成が、現在の社殿を完成。宝永時代の様式を残し、彫刻が多様されている

18 宮上諏訪神社
＜有形文化財＞
本社は天正年間(1573~85)火災で焼失、現在の社殿は天保7年(1836)本間、宮下、本間川、馬流、鎰掛、五面村の総社として建立。棟梁は二代目清水勘兵衛(立川流二代目和四郎富昌の弟子)。

31 秩父事件最後の血戦場東馬流
＜史跡＞
秩父困民党は明治17年11月8日、東馬流井出直太郎家に本陣を置き、千曲川の両岸から南進してきた高崎鎮台との血戦の末、困民軍戦死者13名、警察官軍傷者2名、東馬流の縁人1名流弾により死亡。

33 宮上神社境内宝篋印塔
＜有形文化財＞
宝篋印塔は塔内部に宝篋陀羅尼という経文を納めたことから、その名がある。宮上宝篋印塔は無銘だが、高さと横の均整の取れた安定感があり室町時代の様式である。

30 井出滝人翁の歌碑
＜有形文化財＞
幕末から明治初年、俳句、和歌、長歌や書にもすぐれた小海町の巨匠、滝人の歌友、甲斐国の小沢幸民と、友人、親戚、門人の協力によって、千曲川畔石尊洞の岩頭につくられた。
「捨てられ、むかしのをは(姥)の梯は月ならずして誰か知るべき」

10 寒の坊青面金剛石像
＜有形文化財＞
寛永12年(1635)の造立と思われ、小海町では古い石造物である。青面金剛は庚申信仰の仏であるが、寒念仏の本尊としても祀られている。

県 1 サラサドウダンツツジ群落 ＜天然記念物＞
花期は6月、枝の先に総(ふさ)状に花がつき、花冠は下向に広鐘形、淡紅色。面積、本数、大きさともにわが国随一で学術上、貴重な群落。

5 稲子清水観音堂周辺石像群
＜有形文化財＞
清水観音堂の参道の両端に馬頭尊54基及び、六地蔵塔、青面金剛像、寒の坊(鉦たたき念仏像)等がならんでいる。

6 稲子清水観音堂
＜有形文化財＞
松原湖神光寺の本地堂の普賢菩薩(上社本地物)の両像と弥勒寺の聖観音像が納められている。

7 松原神光寺跡宝篋印塔
＜有形文化財＞
寛永16年の刻銘がある、江戸時代初期の法篋印塔(供養塔・墓碑塔)。

4 松原神光寺跡
＜史跡＞
松原諏方神社の別当寺である神光寺の跡。本堂及び三重塔の礎石を残す。近くの大門地籍には巨岩に魔崖の仏顔彫刻がある。

21 瑞花鳳凰文八稜鏡
＜有形文化財＞
鎌倉時代~南北朝時代の瑞花双鳥八稜鏡。上部に鳳凰が相対し、瑞花が空間を埋めている。

26 鷹野つぎ文学碑
＜有形文化財＞
島崎藤村に師事した女流作家鷹野つぎの碑。町政30周年記念として建立。

24 松原諏方神社下社
＜有形文化財＞
松原湖(猪名湖)の北東岸にある。承応2年(1653)焼失、現社殿は安永3年(1774)10月8日に建立して現在に至る。

23 松原諏方神社上社
＜有形文化財＞
松原湖(猪名湖)の東南岸にあり、湖を隔てて北岸の下社と相対している。明治21年に焼失し、大和奈良の名工小林源三郎勝長を棟梁として迎え再建。本殿は、名工勝長が佐久に残した唯一の傑作で、佐久地方の最大級の規模をもつ。

25 武田信玄関係文書
＜有形文化財＞
戦国大名甲斐国武田氏が天文から永禄年間に松原諏方神社に奉納した願文。
決戦祈願　永禄2年(1560)信濃奥郡出兵　他

22 三寅剣
＜有形文化財＞
7~8世紀、寅年、寅月、寅の日につくられた護身剣、四天王、北斗七星の星座を金銀象嵌する。

29 本村海神社
＜有形文化財＞
永禄12年(1569)に相木殿お宮建立。明暦4年(1658)野沢村大工泉三左衛門房重再建。安政2年(1773)再建。

17 松源寺開山堂の木像僧形坐像
＜有形文化財＞
頭と体幹部は一材により彫出。両肩先、両膝前、裳先をほぞ足す。玉眼入り。脚部衣の文様は古式(室町時代)。

14 親沢大日堂の上屋と仏像
＜有形文化財＞
密教の本尊とされる大日如来を祀る。現在は小堂に大日如来の座像ほか数体の木像が残されている。

13 川平妙見神社の鰐口
＜有形文化財＞
天文12年(1543)、上州の神社に奉納されたという銘文。「高瀬郡桐渕諏方大明神白敬、天文十二年癸刃七月二十五日」がある。鰐口は、社寺軒下につるされた楽器。参拝者が袖を振って礼拝する。

11 親沢追分
＜無形民俗文化財＞
親沢追分は、村の農民の生活の中から生まれた歌謡で、作詞者も作曲者も不明。

16 松源寺木造釈迦坐像
＜有形文化財＞
天台宗総本山比叡山延暦寺戒壇院の旧本尊であったが、松源寺に迎えられ、近年厚手の採色が施された現本尊。木組みは不詳で玉眼を入れ、上下の唇の中央に陰刻線を刻む。

15 松源寺の木造阿弥陀三尊立像
＜有形文化財＞
天台宗道徳山海岸院松源寺の旧本尊、衣端は極めて薄く調整されている。美しい金泥による精緻な文様が施されている。江戸時代前期の作。

3 川平鹿舞
＜無形民俗文化財＞
鹿頭をつけた三頭鹿(獅子)が、弊負い、先ししし(雄)、ささら、中ししし(雌)、後ししし(雄)の順に出場し、円陣を作り、10の演目を大太鼓、小鼓、横笛の囃子にのって演舞する。

28 お子安さん
宿渡集落入口の高い岩の頂上に立ち、白壁・茅葺のお堂に祀られている。巨岩の尖頭を本尊とし、子授け・安産・子育ての神として信仰されている。

8 宿渡西明寺の木造弥陀如来坐像
＜有形文化財＞
江戸末期、日本橋通り伊勢屋に店舗を構えた佐藤安治郎が故郷の西明寺に寄進した阿弥陀如来坐像。

9 笠原東明寺の木造十二神将立像
＜有形文化財＞
薬師如来を守る神々でそれぞれ頭上に子・丑など十二支の彫像をのせて、台座には寄進者の村名・氏名が墨書されている。

県 2 親沢人形三番叟
＜無形民俗文化財＞
親沢諏訪神社の祭礼に五穀豊穣を祈って、翁・丈・千代の人形をあやつり演じられる式三番。江戸時代中期元禄の頃より親沢区の区民が相伝して現在に至っている。

19 大久保の栃の木
＜天然記念物＞
四方原高原を経て群馬県(上州)多野郡上野村白井に通じる古道の休み場で、佐久市・小海町・北相木村、三市町村境界付近にある巨木。樹高約22m、直径約1.2m。

国 1 銅製五鈷鈴
＜重要美術品＞
修法の際の振鈴で、鈴身に四天王と梵天、帝釈天の六仏を陽刻、唐より伝来。

35 松原城址
＜史跡＞
大永年間から天文年間(1520-1540)頃に造られたと見られる。佐久郡の絵図にも松原城があり、本丸、土塁、人工の縦堀、自然に近い縦堀、曲輪など城としての形は整えられており、その頃の佐久郡の各所に見られる小さな山城の一つ。

20 本間川の郷倉
＜有形文化財＞
凶作に備え穀物を貯蔵した倉。木造二階建、井楼造り、瓦葺、材質赤松、もと茅葺屋根、江戸時代文政13年(1830)建造。

27 子抱き地蔵
＜有形文化財＞
台座の刻銘「法印高俊墳墓天保十三壬寅十二月二四日、俊恵供養之」とあり、神光寺77代の住職高俊法印の墓。

1 親沢古浄瑠璃のかしら
＜有形文化財＞
文楽よりも古く、全国的にも珍しく、製作技術も他に見られないと高い評価のかしらは32個、ヤマギリ、トチ、サワグルミの木を使用、とのの粉、胡粉で白く磨く。植毛の技術を用いている。

▲茂来山

▲高見石

▲ニュウ

白駒の池

八岳の滝

稲子湯

稲子岳

海尻

千が滝・俵岩

小海原

はんね石

相木川

東原

本村

中村

大州

小海小

土村

小海駅

須ばり峡谷

東馬流

西馬流

中原

鎰掛

松原湖高原

八那池

松原湖

新開

稲子白駒線

稲子青平線

馬流五筋線

川久保八那池線

本間川

小海線

千曲川

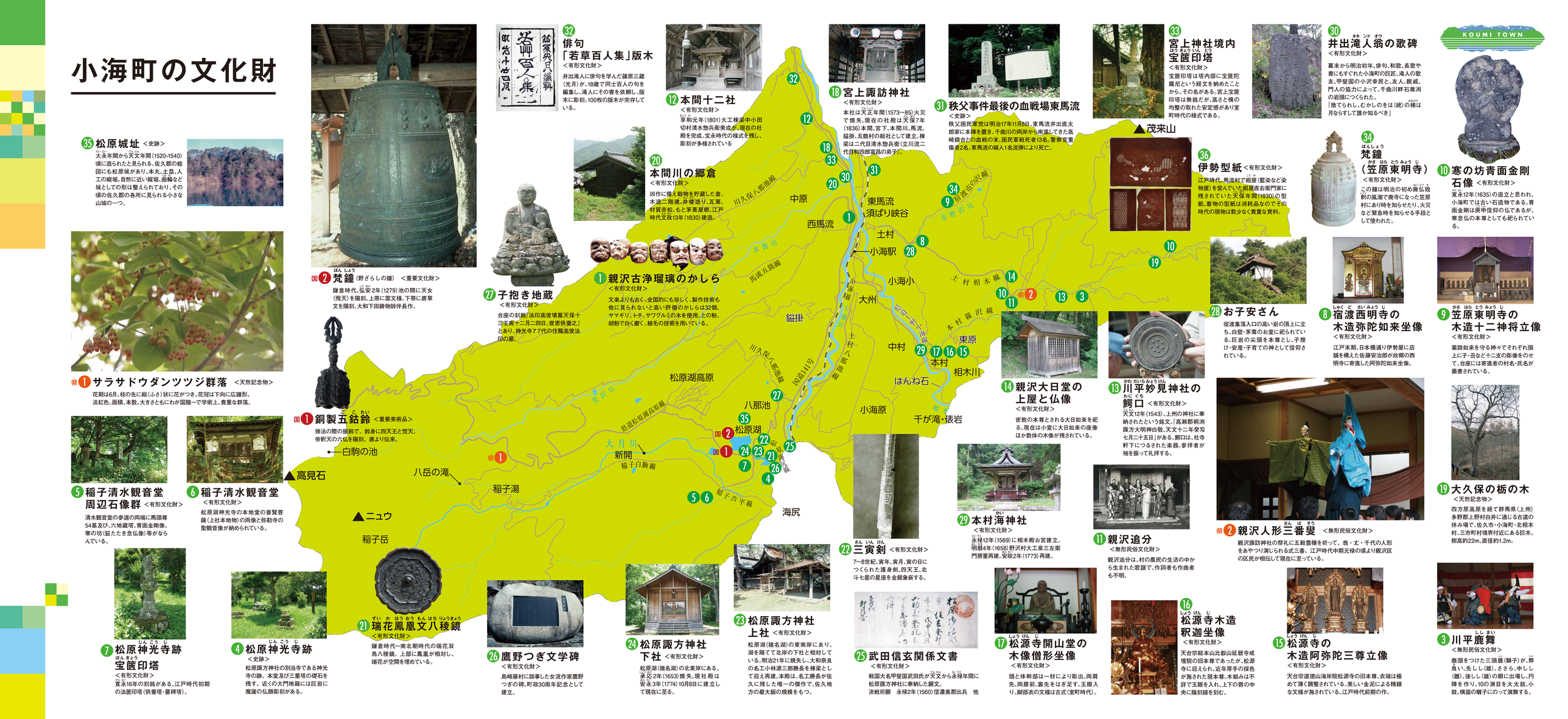
国道141号

佐久穂小諸線

長野県

東京都

県 1

国 1

国 2